

令和4年度 第2回 岩手県企業局経営評価委員会

令和4年11月18日（金）15：30～17：00

盛岡市勤労福祉会館3階 研修室兼展示室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ（森企業局長）
- 3 議 事
 - (1) 令和4年度上半期の経営評価について
 - (2) その他
- 4 閉 会

配付資料

資料1 令和4年度 取組状況の総括（上半期）

資料2 令和4年度 経営評価総括表（上半期）

参考資料1 令和4年度取組内容一覧表

令和4年度 第2回 岩手県企業局経営評価委員会 出席者名簿

委員	一関工業高等専門学校	あかし なおゆき 明石 尚之	
〃	いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社	あべ えいこ 阿部 瑛子	
〃	岩手県立大学総合政策学部	いづみ けいこ 泉 桂子	
〃	早稲田大学水循環システム研究所 株式会社群馬東部水道サービス	なみかわ すずむ 濤川 進	
〃	盛岡ガス株式会社	まつかわ けん 松川 顕	欠席
企業局	局長	もり たつや 森 達也	
〃	次長兼経営総務室長	ささき しんいち 佐々木 真一	欠席
〃	技師長	ふじわら きよと 藤原 清人	
〃 (経営総務室)	管理課長	ちば じゅんこう 千葉 順幸	欠席
〃	予算経理担当課長	きくち のりふみ 菊地 教文	
〃 (業務課)	総括課長	やまや のりひこ 山谷 紀彦	
〃	事業担当課長	こがわ けんいち 古川 健一	
〃	電気課長	たかはし ひろし 高橋 浩	
〃	土木・施設担当課長	たや せいこ 田家 清子	
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	むらかみ としひろ 村上 敏弘	
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	むろつき あつし 室月 敦	
事務局	経営総務室 経営企画課長	いとう たかゆき 伊藤 隆行	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	おぼら じょう 小原 穰	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	まつもと じゅん 松本 潤	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	なかむら けいすけ 中村 圭佑	
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	かつら まさゆき 桂 誠之	
〃	経営総務室 管理担当 特命課長	ほそかわ ひろもと 細川 普基	

(委員 50 音順 敬称略)

出席者数 21 名

令和4年度上半期 取組状況の総括

1 電気事業

第2四半期の出水率・風況が好調であったため、供給電力量は計画値を大きく上回りました。また、再生可能エネルギーの維持拡大に向け、再開発事業を実施していた稲庭高原風力発電所が営業運転を開始したほか、水力発電の開発可能性調査等の再精査を進めるなど、概ね計画どおり進みました。

【主な成果等】

(1) 「運転年数 100 年」を実現するための基盤づくりについては、安定供給の目安となる供給電力量の目標達成に向けて、計画的な施設の修繕・改良に取り組んでいますが、世界的な半導体等の不足の影響により必要な部品の納期が長期化するなど、一部の工事で工期の見直し等が必要となっています。

また、9月に仙人発電所建屋の耐震化工事が完成し、これをもって、全ての発電所建屋の耐震化が完了しました。

(2) 再生可能エネルギーの維持拡大については、稲庭高原風力発電所が7月1日に営業運転を開始し、順調に発電しています。

また、水力発電の新規開発に向け、6か所の開発可能性調査を進めています。



指標一覧（上半期時点）

(1) 「運転年数 100 年」を実現するための基盤づくり		R4目標値	上半期（実績値/計画値）
経営目標	供給電力量(百万 kWh)	594	394/347
	発電所建屋等の耐震化率(%)	100	100/100
	電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	95	89/86
取組内容	進捗状況：12 項目中 a 11 項目(92%) b 1 項目(8%) c なし		
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大		R4目標値	上半期（実績値/計画値）
経営目標	新規開発・再開発による供給電力量(千 kWh)	12,699	5,803/6,917
取組内容	進捗状況：6 項目中 a 6 項目(100%) b なし c なし		
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営		R4目標値	上半期（実績値/計画値）
経営目標	経常収支比率(%)	127	※年度末に評価
取組内容	進捗状況：6 項目中 a 6 項目(100%) b なし c なし		

注) 取組状況の判定基準 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

【主な課題と今後の対応】

半導体不足等による部品の長納期化等に伴う工期の見直しについては、引き続きメーカー等に情報収集を行いつつ、工事内容の見直しも視野に入れて検討を進めます。

令和4年度版の年度別事業実施計画（10か年計画）を策定して以降、物価上昇等の影響により大規模改良・修繕工事に要する費用が増加傾向にあるため、令和5年度版の策定に向け、今後の収支に及ぼす影響を把握し、収支の平準化を検討していきます。

2 工業用水道事業

上半期においては、工事・委託とも概ね計画どおりに進んでおり、良質な工業用水を安定的に供給しています。

【主な成果等】

(1) 良質な工業用水の安定供給については、維持管理要領に基づく計画的な点検等の実施や故障した設備の早期復旧など、適切な保守管理に努めており、安定供給を確保しています。

(2) 新たな水需要への対応については、新北上浄水場の整備において、若干の遅れが生じているものの、各工種における工程を随時調整するなど、全体工程の管理を徹底することにより、概ね計画どおりに進んでいます。



(3) 安定的な事業運営については、ユーザー企業の水需要の動向を踏まえ、金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減に向けて、電気設備の更新工事を進めているほか配水池の改良に向けた設計を進めています。

また、契約水量の維持・増量に向けた取組として、ユーザー訪問による使用水量の動向などについての情報交換を行っています。

指標一覧（上半期時点）

(1) 良質な工業用水の安定供給		R4目標値	上半期（実績値/計画値）
経営目標	供給停止件数(件/年)	0	0/0
取組内容	進捗状況：8項目中 a 8項目(100%) b なし c なし		
(2) 新たな水需要への対応			
取組内容	進捗状況：1項目中 a 1項目(100%) b なし c なし		※経営目標・参考指標設定なし
(3) 安定的な事業運営		R4目標値	上半期（実績値/計画値）
経営目標	経常収支比率(%)	109	※年度末に評価
取組内容	進捗状況：5項目中 a 5項目(100%) b なし c なし		

注) 取組状況の判定基準 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

【主な課題と今後の対応】

新たな水需要への対応について、新北上浄水場の令和5年4月からの一部給水開始に向けて、関係機関との調整を行いながら、整備を進めていきます。

新北上浄水場の維持管理体制の構築、第2期建設工事の着工に向けた準備を進めます。

3 組織力向上と地域貢献

上半期においては、新型コロナウイルス感染症の動向に配慮しつつ、概ね計画どおり進んでいます。

【主な成果等】

(1) 組織力の向上については、1名が第二種電気主任技術者免状の交付を受けました。

また、リクルート活動として、県内の学校に企業局職員を講師として派遣したほか、インターンシップの受け入れを行いました。

危機管理対策については、新たに3発電所の災害時応急対策協定を岩手県建設業協会と締結したことにより、企業局が所有する全ての発電施設の応急対策業務に係る協力体制を構築しました。

みずりん・みどりんお知らせ隊を組織し、稲庭高原風力発電所竣工式や全国植樹祭1年前記念イベントにおいて企業局事業のPRを行いました。



(2) 地域貢献については、「いわて復興パワー」による電気料金の割引や企業局の水力発電所で発電したCO₂フリーの電力を供給する取組を継続しています。また、さらなる普及に向け、東北電力株式会社と適用の拡大について協議を行いました。

温室効果ガスの削減目標の達成に向けて、クリーンエネルギー導入支援事業では15事業に対し交付決定を行ったほか、11件の植樹活動を支援しました。

指標一覧（上半期時点）

(1) 組織力向上		R4目標値	上半期（実績値）
経営目標 ※計画期間(R2～R5)累計	第二種電気主任技術者 新規資格取得者数（人）	4	6
	第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数（人）	1	1
取組内容		進捗状況：11項目中 a 11項目(100%) b なし c なし	
(2) 地域貢献		R4目標値	上半期（実績値）
経営目標	地域貢献事業による温室効果ガス削減量(t以上/年)	120以上	※年度末に評価
取組内容		進捗状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし	

注) 取組状況の判定基準 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

【課題と今後の対応】

(1) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。

(2) いわて復興パワーについては、供給可能な電力量に余裕があることから、東北電力株式会社と適用の拡大に向けた協議を継続しつつ、関係部局と連携しながら対象企業等にPRを行うなど、更なる活用促進を図ります。

1 電気事業

(取組の方向性) (1)「運転年数 100 年」を実現するための基盤づくり

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給電力量(百万 kWh)	計画	222	125	347	111	136	594	
	実績	218	176	394				
	達成率	98%	140%	113%				
発電所建屋等の耐震化率(%)	計画	100	100	100	100	100	100	
	実績	95	100	100				
電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	計画	86	86	86	86	95	95	
	実績	86	89	89				

参考指標 (H22-30 平均)	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]水力発電所の供給停止件数(件/年)	3	2	2	4			
[参考] " の供給停止時間(時間/年)	68	363	192	555			
[参考] " の供給停止電力量(百万 kWh/年)	0.055	0.645	0.513	1.158			

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

- ① 水力、風力及び太陽光の合計の供給電力量は 394 百万 kWh、達成率は 113%と計画値を大きく上回りました。
 - 1) 水力発電は、第2四半期の出水率が 134%と平年を大きく上回ったことなどから、供給電力量は 113%と計画値を大きく上回りました。
 - 2) 風力発電は、平均風速は平年並みでしたが、風況が安定していたことから、供給電力量は 116%と計画値を大きく上回りました。
 - 3) 太陽光発電は、日射量は平年並みであったため、供給電力量は 113%と計画値を大きく上回りました。
 - 4) 経年劣化等による設備不良により、胆沢第二、入畑、北ノ又第二及び御所発電所において供給停止が計4件発生しましたが、迅速に対処し、発電を再開しています。
- ② 発電所建屋等の耐震化率について、仙人発電所建屋の耐震化工事が9月に完成しました。 これをもって全ての発電所建屋の耐震化が完了しました。
- ③ 電力土木施設の耐震診断について、3施設の耐震診断を予定していましたが、四十四田発電所取水塔は国土交通省が進めている北上川上流ダム再生事業（四十四田ダム嵩上げ）の影響を受けることから今年度の実施を見送ることとしました。 また、岩洞第二発電所水圧鉄管は過年度に実施済みであり、岩洞第二発電所水管橋は8月22日に契約し業務を進めています。

令和4年度 経営評価総括表 [上半期]

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良等の実施	b	/	③	ア-1 新技術の導入 (IoT)	a	/
	イ 電力土木施設等長寿命化対策	a	/		ア-2 新技術の導入 (ドローン)	a	/
	ウ-1 耐震化計画の推進 (発電所建屋の耐震化工事)	a	/	④	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	a	/
	ウ-2 耐震化計画の推進 (電力土木施設の耐震診断)	a	/		イ 河川管理者等との連携	a	/
②	ア 適切な保守作業の実施	a	/	ウ 発電所共同運転事業者との連携	a	/	
	イ 風水害への備え	a	/				
	ウ マニュアル等の見直し	a	/				

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のもの C判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 世界的な半導体等の不足の影響により必要な部品の納期が長期化するなど、一部の工事で工期の見直し等が必要となっています。なお、松川発電所水車発電機分解点検補修及び配電盤更新ほか工事については契約を締結し、仙人発電所1、2号水車発電機分解点検補修及び大規模改良工事については2号機の現地工事を進めるなど、年度別事業計画に基づき、計画的に修繕・改良工事等を進めています。
- 電力土木施設の長寿命化に関する検討会議(6月17日開催)において、発電所建屋以外の電力土木施設の耐震化スケジュール等について検討を行いました。
- 施設総合管理所大物倉庫等建替工事は、建屋部分が概ね完成しました。年度内の完成を目指し、現在、内装や設備関係の工事を進めています。
- 県南施設管理所増築工事は、10月に完成しました。

② 適切な保守管理

- 年間作業停止計画表に従い、発電所の定期点検作業等を実施しています。なお、作業の安全性等の確認のため、8月29日、9月26日及び11月7日に電気主任技術者による指導(保安パトロール)を実施しました。
- 年間スケジュールに基づき、工事等に伴う河川法手続き及び協議を随時実施しています。
- 風水害への備えとして、各事業所において、発電所における自然災害による被災の危険性がある個所の追加調査を実施しており、年度内に取りまとめる予定です。
- 第2回電力土木施設の長寿命化に関する検討会議(10月20日開催)において、長期の発電停止を必要とする導水路内部の点検周期の見直し等について検討しました。

③ 新技術の導入

- IoT・AI技術の活用については、検討グループにおいて、既存の集中監視制御システムでは遠隔監視していないデータの収集とそれらを活用するためのクラウドサービス等のインフラについて情報収集を行いました。また、令和5年度からのクラウドサービスの試験導入に向け、検討グループの調査結果を基に、仕様の検討などを進めています。
- ドローンの活用による保守業務の効率化の可能性について調査するため、10月13日に北ノ又第二発電所導水路にて水面ドローン、10月17日に岩洞第一発電所調圧水槽にて垂直ドローンを使用した調査を実施しました。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) 岩洞ダム共有施設の改良工事（国営岩手山麓農業水利事業）について、随時、工事進捗状況などを確認し、岩手山麓農業水利事業所と工程等について協議しました。
- 2) 若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事は、部品の納入が遅れたことにより2か月程度の遅延が生じていますが、令和5年2月には工事が完了する見込みです。
- 3) 北上川上流ダム再生事業に伴う発電所への影響について、7月5日に北上川ダム統管理事務所と今年度の調査内容について協議しました。また、8月8日に、北上川ダム統管理事務所と合同で岩洞第二発電所の現地調査を実施しました。
- 4) 地域貢献の一環として、6月2日及び3日に湯田ダムの共同利水事業者3者（企業局、東北自然エネルギー株式会社、岩手中部土地改良区）で和賀川河川環境保全事業（アユの稚魚放流）を実施しました。また、和賀川の河川環境調査を実施し、魚類の生育環境の状況を確認しました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 半導体不足等による部品の長納期化等に伴う工期の見直しについては、工事内容の見直しも視野に入れて検討していきます。
- 2) 施設総合管理所大物倉庫等建替工事は、引き続き、年度内の完成に向けて工事を進めます。

② 適切な保守管理

河川法手続きは、該当する工事等のスケジュールに合わせて適宜手続きを進めます。

③ 新技術の導入

垂直ドローン、水面ドローンによる土木施設調査を実施し、引き続き本格運用に向けた検討を進めます。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) 岩洞ダム共有施設の改良工事は、引き続き、岩手山麓農業水利事業所と工事の進捗状況等について協議・調整を行い、令和4年度に計画している工事の完成を目指します。
- 2) 若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事は、引き続き機器製作を進め、令和5年1月から現地据付を開始し、2月の工事完成を目指します。

令和4年度 経営評価総括表 [上半期]

1 電気事業

(取組の方向性) (2)再生可能エネルギーの維持拡大

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
新規開発・再開発による	計画	3,573	3,344	6,917	3,189	2,593	12,699	/
供給電力量(千 kWh)	実績	2,719	3,083	5,803				

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

築川発電所 (R3.7 運開) は、第1四半期の降雨量が少なく流入量も少なかったため、供給電力量が計画を下回りました。また、稲庭高原風力発電所 (R4.7 運開) は、平均風速がほぼ平年並みであったため、供給電力量はほぼ計画どおりとなりました。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	イ-1 新規開発に向けた調査等(水力発電)	a	/	②	ア 胆沢第二発電所の再開発	a	/
	イ-2 新規開発に向けた調査等(水力発電以外)	a	/		イ 入畑発電所の再開発	a	/
					ウ 稲庭高原風力発電所の再開発	a	/
					エ 再開発の検討	a	/

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のもの C判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 新規開発の推進

- 1) 水力発電の新規開発に向け、6地点の開発可能性調査を進めています。また、南本内地点ほか1地点において河川流量調査を行いました。
- 2) 公営電気事業経営者会議等を通じ、新規開発に対する支援制度等の情報収集を行ったほか、新規開発を取り巻く課題への対応を国に要望しました。

② 再開発の推進

- 1) 稲庭高原風力発電所再開発事業においては、法定検査や電力供給契約の締結など、必要な手続きを進め、7月1日に営業運転を開始し、順調に発電しています。
- 2) 胆沢第二発電所・入畑発電所電気設備更新工事は、全体工程に沿って、設備の詳細仕様の検討を行っています。また、水車発電機基礎の撤去・再構築に係る詳細設計を進めています。
- 3) 胆沢第二発電所代替放流設備設置工事のうち土木工事は引き続き現地工事を進めています。また、機械電気設備工事は現在、機器製作に向けた設計を進めています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 新規開発の推進

- 1) 「温室効果ガス排出量 2050年実質ゼロ」を見据え、企業局としての取組の検討が必要です。このため、今年度新たに設置した経営戦略検討チームにおいて、目標達成に向けた具体的な開発計画、投資計画の検討を進めます。
- 2) 新規水力発電所の開発可能性調査を実施し、開発候補地点の選定を進めます。

② 再開発の推進

胆沢第二発電所代替放流設備設置工事は、農業用水の供給に支障が生じないよう、令和5年度の既設水車発電機等撤去工事開始までの完成を目指し工事を進めます。

令和4年度 経営評価総括表 [上半期]

1 電気事業

(取組の方向性) (3)経営環境の変化に対応した安定経営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	127	※年度末に評価	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 適正な売電価格の確保	a	△	②	ア 業務の効率化	a	△
	イ-2 供給電力量の向上に向けた取組 (高効率機器の導入)	a	△		イ 経費の平準化	a	△
	ウ 地域新電力との協働・連携	a	△	③	電力の新たな付加価値に関する情報収集等	a	△

注) 進捗状況 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 適正な収入の確保

- 容量市場において、令和2年度に約定となった令和6年度分の電力供給について、停止計画の調整を行っています。また、令和8年度分の電力供給について、容量市場メインオークションへの参加手続きを行いました。
- 電力供給契約に基づき、毎月の電力量認定及び契約先への非FIT電源非化石証書の受け渡しを適切に行っています。
- 東北電力(株)のプロポーザル提案事項に基づき、技術交流会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、当面延期することとしました。
- 令和6年度以降の非FIT電源の売電契約に向けて、プロポーザルにおける県内枠の参加資格要件の緩和について検討を進めました。

② 経営の効率化

- 技術担当課長会議で「IoT・AI技術の活用」を引き続き特定課題に選定し、グループで検討を進めています。
- 収支の平準化に向けて、6月に令和4年度版の年度別事業実施計画(10か年計画)を策定しました。

(3) 主な課題と今後の対応

令和4年度版の年度別事業実施計画(10か年計画)を策定して以降、物価上昇等の影響により大規模改良・修繕工事の費用が増加傾向にあるため、令和5年度版の策定に向け、今後の収支に及ぼす影響を把握し、収支の平準化を検討していきます。

令和4年度 経営評価総括表 [上半期]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (1)良質な工業用水の安定供給

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給停止件数(件)	計画	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0				

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年平均
[参考]工業用水の濁度(度) (供給規定15度以下)	0.6	0.5	0.5	0.5			
[参考]工業用水の水素イオン濃度(pH)	7.0	7.02	7.03	7.03			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

※供給停止件数については、目標値を達成した場合はA、達成しなかった場合はD [年度末に判定]

【特記事項】

維持管理要領に基づく計画的な点検等の実施や故障した設備の早期復旧など、適切な保守管理に努めており、**安定供給を確保**しています。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	イ 第二浄水場配水管布設工事	a	/	②	ア 適切な保守作業の実施	a	/
	ウ 第二浄水場天日乾燥床増設工事	a	/		イ 適切な水質管理の実施	a	/
	エ 金ヶ崎ろ過施設(第二期) 高圧受電設備更新等	a	/		ウ トラブル発生時の対応	a	/
	オ その他修繕・改良工事等	a	/	③	新技術導入の検討	a	/

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

令和4年度に計画している工事は、概ね計画どおり進んでいます。

[第一浄水場]

・配水管(1-7工区)布設工事 ⇒ 工業団地造成に伴う市道払下げが決定次第着手(時期未定)

[第二浄水場]

・配水管布設(1-3工区)工事 ⇒ 施工中
 ・天日乾燥床増設工事 ⇒ R4.7.19 契約

[第三浄水場]

・配水管(1-7工区)布設工事 ⇒ 工業団地造成に伴う市道払下げが決定次第着手(時期未定)

[北上ろ過]

・導水管本復旧工事 ⇒ R3.11.18 契約(R3 繰越工事)、R4.5.31 完成

[金ヶ崎ろ過]

・第二期高圧受電盤設備更新等工事 ⇒ 施工中(R3~R4) 機器製作中

② 適切な保守管理の実施

- 維持管理要領に基づき計画的な点検及び作業を実施しています。
- 令和2年度に発生した北上ろ過施設の漏水事故について、令和4年5月に本復旧工事が完了しました。

③ 新技術の導入

特定課題検討グループにおいて、工水事業へのIoTやAIなどの新技術の導入展開について検討しています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

各工事・委託が計画どおりに完了するよう、適切な工程管理を徹底します。

② 適切な保守管理の実施

維持管理要領に基づく各施設の点検や作業等を安全かつ計画的に実施します。また、改修工事等を踏まえ、必要に応じて維持管理要領の見直しを進めます（年度末を想定）。

③ 新技術の活用

ドローンを活用した建設工事現場の写真撮影や建築設備の年次点検を引き続き実施します。また、特定課題検討グループにおいて、新技術の導入や今後の動向について情報収集等を行います。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (2)新たな水需要への対応

(1) 経営目標、参考指標の状況

設定なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果
施設・設備の整備	a	△

注) 進捗状況 a:取組が完了できる見込み b:取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c:取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A:目標とした成果を達成した B:(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C:目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

新北上浄水場の整備については、**若干の遅れ**が生じているものの、**概ね計画どおり**進んでいます。

[浄水場建設事業] (工期：R1～R4)

- ・土木（第一期）工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ 業務執行中
- ・機械設備（第一期）工事 ⇒ 機器据付中
- ・電気設備（第一期）工事 ⇒ 機器据付中

[取水口建設事業] (工期：R2～R4)

- ・取水口建設土木工事 ⇒ 現地施工中
- ・取水ポンプ棟建築工事 ⇒ 現地施工中 (R3 年度出来高繰越分 R4.6 完了)
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ 業務執行中
- ・取水口建設機械設備工事 ⇒ 機器製作中、一部機器据付
- ・取水口建設電気設備工事 ⇒ 機器製作中 (R3 年度出来高繰越分 R4.9 完了)

[配水管布設] (工期：R2～R4)

- ・配水管布設工事（第2工区）⇒ （繰越工事）R4.6.30 完成
- ・配水管布設工事（第1工区）⇒ 現地施工中 (R3 年度出来高繰越分 R4.9 完了)
- ・配水管布設工事（第3工区）⇒ 現地施工中

(3) 主な課題と今後の対応

- 1) **新北上浄水場及び取水口建設工事**については、**令和5年4月からの一部給水開始**に向け、施設・設備等の整備に影響が生じないよう、引き続き、各施工業者間の工程を随時調整するなど、**全体工程の管理を徹底**します。
- 2) **配水管布設工事**については、施工個所の交通規制により車両の往来に影響があることから、**周辺企業の理解と協力を得られるよう調整**し、年度内の完成に向けて工事を進めます。
- 3) 令和5年4月以降の**新北上浄水場の維持管理体制の構築、第2期建設工事の着工**に向けた準備を進めます。

令和4年度 経営評価総括表 [上半期]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (3)③安定的な事業運営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	109	※年度末に評価	

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 業務の効率化	a		②	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	a	
	イ 経費の平準化	a			イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	a	
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	a					

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 経営の効率化

- 複数施設の委託業務等を合冊発注し、業務の効率化と経費節減を図っています。
- 長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の見直し作業を進めながら、工事・委託等の経費の平準化を図っています。
- 効率的な経営の在り方についての検討に関しては、**ダウンサイジングによる経費の縮減**に向けて、**金ヶ崎ろ過施設(第二期)電気設備の更新や配水池の改良設計**を進めています。

② 適切な収入の確保

- 契約水量の維持・増量に向けた取組として、**これまでに13社のユーザー訪問**を実施し、使用水量の動向などについて意見交換を行いました。また、**1件の契約水量の増量申込**に対応しました。
- 政府に対し、工業用水道施設の新規整備や既存施設機能強化等**に対する補助金や公営企業債などの財政支援を要望しました。
- 補助金を活用して、第二浄水場の一部既設配水管の更新を行っています。また、**令和5年度の補助金の申請**に向けた手続きを進めています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 経営の効率化

金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングは、電気設備の更新や配水池改良の設計業務等を通じて、**より効率的な施設整備を進めていきます。**

② 適切な収入の確保

- 新型コロナウイルス感染症の影響など、**ユーザー企業の実使用水量の動向を注視**するとともに、次回予定している決算概要説明に係るユーザー訪問では、オンライン方式の活用も検討します。
- 補助金や公営企業債に関する国の動向等を注視しながら、引き続き、**適時適切な要望等**を行っていきます。

令和4年度 経営評価総括表 [上半期]

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (1)組織力向上

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	4				4	
	実績	6	6				
第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	1				1	
	実績	1	1				

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]第二種電気主任技術者有資格者数(人)	6	6	6	6			
[参考]第一種ダム水路主任技術者有資格者数(人)	6	8	8	8			
[参考]専門研修受講者数(人)	412	41	100	141			
[参考]職員満足度調査における満足度(%)	79						
[参考]企業局施設見学者数(人)	1,574	239	373	612			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

- 1) 第二種電気主任技術者免状は、令和3年度試験に合格した1名が交付を受けました。
- 2) 第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向け、県土整備部のダム点検に同行し経験を積む取り組みを進めています。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	a		③	ア ワーク・ライフ・バランスの確保	a	
	イ 有資格者の計画的な確保	a			イ 職場の働きやすさ向上	a	
	ウ 人材育成・技術継承	a			ウ 安全衛生対策の充実	a	
	エ 経営力の強化	a		④	ア 広報活動	a	
②	ア 災害への対応体制の確立	a			イ 企業局施設の見学者の受入れ、施設見学会の開催	a	
	イ リスクマネジメント	a					

注) 進捗状況 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A：目標とした成果を達成した B：(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C：目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 人材の確保・育成

- 1) リクルート活動の一環として、県内の学校に企業局職員を講師として派遣し業務説明を行いました。また、インターンシップとして2名の大学生を受入れ、5日間にわたって企業局の状況を説明しました。
- 2) 第二種電気主任技術者の資格取得の前提となる第三種電気主任技術者試験(上期)に2名合格しました。
- 3) 新採用職員研修は、所属にかかわらず共通する事項を研修項目として取り込み5日間実施しました。
- 4) 新任職員研修のうち座学研修はこれまでの集合形式ではなく、あらかじめ収録した講義動画を各自が一定期間内に視聴する方法を試行し、概ね好評でした。

② 危機管理対策、リスクマネジメント

- 1) 岩手県建設業協会と締結している「災害時における県営発電施設の応急対策業務に関する協定」について、対象とされていなかった3発電所を追記し、企業局が所有する全ての発電施設の応急対策業務に係る協力体制を構築しました。
- 2) 地震による被害を想定した**災害対応訓練**（被害想定、復旧計画概略策定、災害対応模擬訓練、情報伝達訓練）を実施しました。

③ 職場環境の充実

4月から電子決裁・文書管理システムの運用を開始したほか、ペーパーレス会議の拡大、メンタルヘルス巡回相談実施に向けた検討など、企業局働き方改革ロードマップに基づく各取組を進め、効率的な業務遂行や働きやすい職場環境の実現に向けた取組を進めています。

④ 企業局事業の理解促進

- 1) 今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、施設見学の受入れを7月21日から9月30日まで休止しましたが、10月3日から再開しています。
- 2) 施設見学会は、一定の制限を設けたうえで開催を予定しておりましたが、全国的な新型コロナウイルス感染症の急拡大を考慮し、順延することとしました。
- 3) 企業局のイメージキャラクターである『みずりん・みどりん』を活用した企業局職員によるPR隊（みずりん・みどりんお知らせ隊）を組織し、稲庭高原風力発電所竣工式や全国植樹祭1年前記念イベントにおいて、企業局事業のPRを行いました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 人材の確保・育成

- 1) 職員採用については、積極的なリクルート活動により人材確保に努めるとともに、業務を円滑に推進するため、必要な組織体制の整備や適正な人員配置に引き続き努めます。
- 2) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。
- 3) 「企業局職員育成ビジョン」に基づき、専門性と経営感覚を備えた意識・能力の高い職員養成に取り組んでいきます。

② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組

災害応急対策マニュアルや協定などを、今後も必要に応じ見直しを行います。

③ 職場環境の充実

- 1) 「企業局働き方改革ロードマップ」を基に、引き続き、ワーク・ライフ・バランスの確保や働きやすい職場環境の実現に向けた取組を引き続き進めていきます。
- 2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、引き続き、基本的な感染対策の徹底に努めます。

④ 企業局事業の理解促進

引き続き新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、より効果的な企業局事業の理解促進につなげられるよう、施設見学やみずりん・みどりんお知らせ隊などの広報の実施手法について検討します。

令和4年度 経営評価総括表 [上半期]

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (2)地域貢献

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(t以上/年)	実績(t以上/年)	達成度
地域貢献による温室効果ガス削減量	120	※年度末に評価	

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援金額(千円)	23,000	0	0	0			
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援件数(件/年)	9	0	0	0			
[参考]植樹活動支援事業の支援金額(千円)	2,300	1,430	592	2,023			
[参考]植樹活動支援事業の支援件数(件/年)	13	7	4	11			

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 小売電気事業者と連携した取組	a	△	②	ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町村等向け補助事業)	a	△
	イ 一般会計への繰出し	a	△		イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	a	△
				ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	a	△	
				③	水素利活用への取組	a	△

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 電力供給を通じた地域貢献

1) 東北電力株式会社と連携して取り組んでいるいわて復興パワーによる電気料金の割引は、10月末時点で適合事業者数は568件となっています。また、いわて復興パワー水力プレミアムによるCO₂フリー電気の供給企業等は10月末時点で29件となっています。

さらに、いわて復興パワー及びいわて復興パワー水力プレミアムのさらなる普及に向け、東北電力株と適用の拡大に向けた協議を行いました。(5/26、6/24実施)

2) 久慈地域エネルギー株式会社と連携して取り組んでいるアマリングリーンでんきによる地産地消CO₂フリー電気の供給企業等は、10月末時点で36件となっています。

② 地球温暖化防止に向けた取組

1) クリーンエネルギー導入支援事業については、市町村が再エネ設備または省エネ設備を導入する15事業に対し交付決定を行いました。

2) 植樹活動支援事業では、17件の内示を行い、10月末時点で12件の事業を支援しました。うち4件は企業局職員も参加して植樹活動を行いました。また、令和5年度に岩手県で開催される全国植樹祭の1年前記念イベントに苗木の提供を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、支援を予定していた豊沢川の森・市民植樹祭2022及び旧松尾鉦山跡地緑の再生活動が中止となりました。

③ 水素利活用推進プロジェクト

「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、環境生活部が実施する令和4年度「水素利活用による再生可能エネルギー推進事業」に財政支援を行っています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 電力供給を通じた地域貢献

いわて復興パワー及びいわて復興パワー水力プレミアムについて、企業局から供給する電力量を上限として運用していますが、供給可能量に余裕があるため、関係部局と連携しながらPRを行い、活用促進を図っていきます。また、引き続き、小売電気事業者と適用の拡大に向けた協議を行います。

② 地球温暖化防止に向けた取組

クリーンエネルギー導入支援事業について、交付決定した事業の実施状況等を適切に管理します。

③ 水素利活用推進プロジェクト

県の水素利活用に関する検討会議に参加し取組の方向性や今後の動向に関する情報収集を行いつつ、引き続き「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用した財政支援に取り組みます。

令和4年度 経営評価総括表 [上半期]

【補足説明資料】

1 電気事業

① 供給電力量電源別内訳(百万 kWh)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	計画	207	116	323	95	119	537
	実績	202	164	366			
	達成率	97%	142%	113%			
風力	計画	14	9	23	16	17	56
	実績	16	11	27			
	達成率	111%	122%	116%			
太陽光	計画	0.47	0.41	0.88	0.24	0.19	1.30
	実績	0.54	0.45	0.99			
	達成率	115%	110%	113%			
合計	計画	222	125	347	111	136	594
	実績	218	176	394			
	達成率	98%	140%	113%			

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

② 気象データ(%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
出水率	97%	134%	112%			
降水量平年比	94%	124%	113%			
平均風速平年比	99%	104%	101%			
日射量平年比	106%	96%	101%			

③ 供給停止*件数の過去平均と原因別比較(件)

	H22-H30 平均	R2	R3	R4	R5
人的ミス等	1	1	2	(0)	
設備不良等	2	4	2	(4)	
合計	3	5	4	(4)	

*供給停止：人的ミスや設備不良など、企業局の責による理由で、計画した電力の供給ができないこと

④ 発電所建屋等の耐震化工事(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	2	—	—
実績	16	2	1	1	
達成率	80%	90	95	100	

⑤ 電力土木施設の耐震診断(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	5	3	2
実績	25	2	5	(2)	
達成率	68%	73	86	(92)	

令和4年度 経営評価総括表 [上半期]

⑥ 電力料収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	予算	1,615	1,472	3,087	1,374	1,385	5,846
	実績	1,614	1,541	3,155			
	達成率	100%	105%	102%			
風力	予算	319	199	518	354	359	1,232
	実績	332	246	579			
	達成率	104%	124%	112%			
太陽光	予算	17	14	31	10	10	51
	実績	19	16	35			
	達成率	113%	111%	112%			
合計	予算	1,951	1,686	3,637	1,738	1,754	7,129
	実績	1,966	1,803	3,769			
	達成率	101%	107%	104%			

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

⑦ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	経営計画	予算額	決算額
経常収益	6,937	7,405	
経常費用	5,482	6,142	
経常利益	1,455	1,263	

(経常収益 = 電気事業収益 - 特別利益)
 (経常費用 = 電気事業費用 - 特別損失 - 予備費)
 (経常利益 = 経常収益 - 経常費用)

2 工業用水道事業

① 実使用水量(千m³、%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
計画	2,357	2,384	4,741	2,379	2,396	9,516
実績	2,308	2,703	5,011			
達成率	97.9	113.4	105.7			

② 料金収入(百万円、税抜)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	
一般給水	予算	157	159	316	159	159	634
	実績	157	165	322			
	達成率	100.0	103.8	101.9			
ろ過給水	予算	52	53	105	51	52	208
	実績	52	53	105			
	達成率	100.0	100.0	100.0			
合計	予算	209	212	421	210	211	842
	実績	209	218	427			
	達成率	100.0	102.8	101.4			

③ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	経営計画	予算額	決算額
経常収益	985	887	
経常費用	901	884	
経常利益	84	3	

(経常収益 = 工業用水道事業収益 - 特別利益)
 (経常費用 = 工業用水道事業費用 - 特別損失 - 予備費)
 (経常利益 = 経常収益 - 経常費用)

令和4年度 取組内容一覧表

参考資料1

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
1 電気事業				
(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり				
① 施設の強靱化及び大規模災害への備え				
ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	<ul style="list-style-type: none"> 【仙人】水車発電機分解点検補修・大規模改良工事（R3～R5）の進捗管理（2号機の完成） 【松川】水車発電機分解点検補修等工事（R4～R6）の契約締結 【北ノ又】配電盤及び33kVキュービクルほか更新工事（R3～R5）の進捗管理（機器製作の開始） 【北ノ又第二】配電盤ほか更新工事（R4～R6）の契約締結 【北ノ又第二】33kV連絡線更新工事（R3～R5）の進捗管理（ケーブル製作の開始） 【施設総合管理所】大物倉庫他建替工事（R3～R4）の完成 【県南施設管理所】事務所増築等工事（R3～R4）の完成 	1	電気	
イ 電力土木施設等の長寿命化対策	<ul style="list-style-type: none"> 【仙人】コンクリート構造物補修設計業務の完了 【岩洞第二】濁川サイフォン内外面点検の完了 土木担当職員の技術向上を目的とした研修会の開催 長寿命化検討会議の実施による、新たな技術的課題の抽出及び情報共有 	2	土木	
ウ-1 耐震化計画の推進（発電所建屋等の耐震化工事）	<ul style="list-style-type: none"> 【仙人】耐震化工事の完成 	3	土木	
ウ-2 耐震化計画の推進（電力土木施設の耐震診断）	<ul style="list-style-type: none"> 2施設（岩洞第二水圧鉄管、水路橋）の耐震診断の完了 <p>※中期経営計画（第1期）において、令和4年度の取組は3施設となっているが、令和4年度に予定していた四十四田発電所取水塔については、国土交通省が進めている四十四田ダム再生事業と関連することから、今年度の実施を見送ることとしたもの。</p>	4	土木	
② 適切な保守管理の実施				
ア 適切な保守作業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 電気主任技術者による保安指導の実施（保安パトロール等） 【高森高原】【稲庭高原】環境モニタリング事後調査業務委託の完了 令和4年度実施予定の工事等に係る河川法許可の取得 定期点検等における関係者との事前協議の徹底（作業・工事内容に関する事前打合せ・連絡の実施） 各発電所の特性に関する重要引継事項についての課内研修の実施（年度当初） 保安規程等に基づく計画的な保守作業の実施（点検手入れ計画表の点検項目を全て実施） 	5	電気	
イ 風水害への備え	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害の危険箇所追加調査の実施（全施設） 【北ノ又】発電所構内排水施設等改良工事の完成 【北ノ又第二】地すべり対策復旧工事の完成 	6	土木	
ウ マニュアル等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 施設更新等に伴う保守要則の改定 	7	電気	
③ 新技術の活用				
ア-1 新技術の導入(IoT)	<ul style="list-style-type: none"> 巡回支援や遠方監視制御装置との連携など、データを効率的に収集するシステムの構築に向けた検討（タブレット点検表の試験導入） 	8-1	電気	
ア-2 新技術の導入(ドローン)	<ul style="list-style-type: none"> 垂直ドローン、水面ドローン調査の試行 	8-2	土木	
イ 発電所遠方監視制御装置のIP化				
④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携				
ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	<ul style="list-style-type: none"> 岩洞ダム共有施設の改良工事（国営岩手山麓農業水利事業）の推進、事業費の適切な管理（年度協定に基づく負担金の支払い完了） 農業用水の安定供給（営農に支障をきたす長期供給支障が無いこと） 若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事の完成 	10	土木	
イ 河川管理者等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 北上川上流ダム再生事業に伴う発電所への影響確認（北上川ダム統合管理事務所との協議実施） 	11	土木	
ウ 発電所共同運転事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 和賀川河川環境保全事業の実施 電源開発(株)との共有施設の点検及び工事に関する調整（今年度実施事項の確認、次年度業務実施計画の決定） 東北自然エネルギー(株)との共有施設の点検及び工事に関する調整（共同運転会議による実施事項の確認） 	12	電気	

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大				
① 新規開発の推進				
ア 築川発電所の建設				
	イ-1 新規開発に向けた調査等 (水力発電)	・新規開発地点の現地状況の確認 ・新規開発候補地点の選定	14-1	土木
	イ-2 新規開発に向けた調査等 (水力発電以外)	・洋上風力発電などに関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	14-2	企画
② 再開発の推進				
	ア 胆沢第二発電所	・代替放流設備設置（土木）工事（R3～R5）の現地工事着手 ・代替放流設備設置（電気機械）工事（R4～R5）の契約締結、現地工事着手 ・水車発電機等更新工事の進捗管理（図面等承諾） ・水車発電機基礎構築設計業務の完了	15	土木
	イ 入畑発電所	・水車発電機等更新工事の進捗管理（図面等承諾） ・水車発電機基礎構築設計業務の完了	16	電気
	ウ 稲庭高原風力発電所	・FIT売電契約の締結 ・新風車に係る機器据付、試験調整の完了、営業運転の開始 ・使用前安全管理審査ほか保安関係手続の完了	17	電気
	エ 再開発の検討	・既設発電所の土木設備改修検討業務の完了	18	電気
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営				
① 適正な収入の確保				
	ア 適正な売電価格の確保	・非FIT水力発電所の令和6年度以降の売電契約に向けた調査・検討 ・令和8年度容量確保契約の締結	19	電気
	イ-1 供給電力量の向上に向けた取組（点検周期等見直し）			
	イ-2 供給電力量の向上に向けた取組（高効率機器の導入）	・【仙人】1号ランナ新製工事(R3～R5)の進捗管理（図面承諾） ・【仙人】2号ランナ新製工事(R2～R4)の完成・納品	21	電気
	ウ 地域新電力との協働・連携	・現売電契約による協働・連携の実施 (経営状況、県内供給状況、プロポーザル提案事項の確認)	22	電気
② 経営の効率化				
	ア 業務の効率化	・新たな技術的課題の抽出及び情報共有に向けた技術担当課長会議（4回）及び保守担当者会議（2回）等の実施 ・年間作業停止計画の策定（関係機関との調整による発電所の効率的な運用）	23	電気
	イ 経費の平準化	・長期的な収支を考慮した10か年計画の改定	24	電気
③ 電力の新たな付加価値の検討				
	ア 電力の新たな付加価値に関する情報収集等	・情報収集、調査等の実施・共有 (他県等の状況把握など)	25	企画

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
2	工業用水道事業			
(1) 良質な工業用水の安定供給				
① 施設の強靱化及び大規模災害への備え				
	ア 第三浄水場加圧脱水機更新			
	イ 第二浄水場配水管布設工事	・配水管更新（1-3工区）工事の完成	27	事業
	ウ 第二浄水場天日乾燥床増設工事	・天日乾燥床増設工事の完成	28	事業
	エ 金ヶ崎ろ過施設（第二期）高圧受電設備更新等工事	・高圧受電設備更新等工事の完成	29	事業
	オ その他修繕・改良工事等	・第一浄水場配水管（1-7工区）布設工事の完成 ・第三浄水場ほか配水管（1-7工区）布設工事の完成 ・北上ろ過施設導水管本復旧工事の完成	30	事業
② 適切な保守管理の実施				
	ア 適切な保守作業の実施	・工業用水道施設維持管理要領の改定 ・工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な点検及び作業等の実施（点検項目を全て実施）	31	事業
	イ 適切な水質管理の実施	・工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な水質計器等の保守管理の実施（点検項目を全て実施） ・水質異常に対する訓練等の実施 ・油流出事故防止活動の実施	32	事業
	ウ トラブル発生時の対応	・トラブル対応訓練の実施	33	事業
③ 新技術の活用				
	ア 新技術導入の検討	・先進事例等の情報収集・共有	34	事業
(2) 新たな水需要への対応				
水需要に応じた施設の整備				
	施設・設備の整備	・新北上浄水場建設工事の完成 ・取水口建設工事の完成 ・配水管布設工事の完成	35	事業
(3) 安定的な事業運営				
① 経営の効率化				
	ア 業務の効率化	・複数施設の委託業務の合冊発注等による業務の効率化の実施	36	事業
	イ 経費の平準化	・長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の改定	37	事業
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	・金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングに向けた配水池改良基本・詳細設計業務委託の完了	38	事業
② 適切な収入の確保				
	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	・ユーザー企業への訪問 ・新規契約・増量企業等の給水手続きの迅速な対応	39	事業
	イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	・国庫補助金や公営企業債枠の拡大を国へ要望 ・企業債の借入等	40	事業

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
3	組織力向上と地域貢献			
	(1) 組織力向上			
	① 人材の確保・育成			
	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	・インターンシップや業務説明等の実施、知事部局等との人事交流により必要な人材を確保 ・令和5年度の業務運営に最適な組織体制を確保	41	管理
	イ 有資格者の計画的な確保・育成	・資格取得の支援・奨励により資格取得者の確保・養成 ・知事部局等との人事交流を継続し人材を確保	42	管理
	ウ 人材育成・技術継承	・専門研修実施計画に基づく職場研修や局全体対象の現場研修及び関係部局と連携した研修の実施、職場外研修の受講	43	管理
	エ 経営力の強化	・経営に関する研修、マネジメント支援プログラムの実施	44	管理
	② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組			
	ア 災害への対応体制の確立	・災害応急対応訓練の実施	45	管理
	イ リスクマネジメント	・重要なリスクや対応状況などの管理台帳の更新、局内で情報共有	46	企画
	③ 職場環境の充実			
	ア ワークライフバランスの確保	・ワークライフバランスの実践など働き方改革の推進に向けた取組の実施（業務改善、タイムマネジメント、自己研鑽意欲の向上、フレックスタイム制度導入や在宅勤務の活用促進等） ・局長等と職員との意見交換会の実施 ・職員の不安や悩みの軽減に資するメンタルヘルス・健康推進事業等の実施	47	管理
	イ 職場の働きやすさ向上	・企業局働き方改革ロードマップに基づく各取組の実施（ペーパーレス会議の拡大、電子決裁・文書管理システムの運用開始、業務の省力化、柔軟な働き方が出来る執務環境の整備等） ・【早池峰】発電所等への女性用トイレの整備 ※中期経営計画（第1期）において、令和4年度の取組は2施設となっているが、令和4年度に予定していた仙人発電所の屋外トイレについては、共同事業者（東北自然エネルギー（株））との協議により、撤去することとしたもの。	48	管理
	ウ 安全衛生対策の充実	・安全パトロール、労働災害無事故表彰の実施 ・職員安全衛生委員会の開催 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の実施	49	管理
	④ 企業局事業の理解促進			
	ア 広報活動（PRグッズ配布、『みずりん・みどりん』によるPR）	・『みずりん・みどりんお知らせ隊』によるイベントへの参加及びPRグッズの作成・配布などを通じた積極的な情報発信の実施	50	企画
	イ 企業局施設での見学者の受け入れ、施設見学会の開催	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を考慮した施設見学会及び随時の見学者受け入れの実施可否の判断、適切な対策の実施	51	企画
	(2) 地域貢献			
	① 電力供給を通じた地域貢献			
	ア 小売電気事業者と連携した取組	・いわて復興パワー（電気料金割引）の対象拡大 ・小売電気事業者及び関係部局と連携したPRの実施 ・小売電気事業者と連携したCO ₂ フリーの電力の県内企業等への供給	52	企画
	イ 一般会計への繰出し	・一般会計への繰出しによる震災復興及びふるさと振興関連施策の財政的支援の実施	53	企画
	② 地球温暖化防止に向けた取組			
	ア クリーンエネルギー導入促進事業（市町村向け補助事業）	・県内のクリーンエネルギーの導入促進及び普及啓発に向けた市町村等に対する補助金の交付	54	企画
	イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	・県内の環境保全やクリーンエネルギーの導入促進に向けた一般会計への繰出しによる財政的支援の実施	55	企画
	ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	・水源涵養の促進及び環境保全活動を実施する市町村等に対する苗木の提供や職員参加による支援の実施 ・令和5年度全国植樹祭に向けた関係部局との調整	56	企画
	③ 水素利活用推進プロジェクト			
	ア 水素利活用への取組	・県の水素利活用に関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	57	企画